

## 医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	舌再建術後の機能に対するリスク因子解析 多施設共同後ろ向き観察研究
研究責任者	浜松医科大学医学部形成外科 水上高秀
研究機関名	浜松医科大学
研究目的と意義	舌癌切除後に舌再建術を行い、術後嚥下機能や会話機能の向上を行っていますが、経口摂取ができない患者さんや誤嚥の危険性から気管カニューレが挿入されたままの患者さんがいます。このような方々では著しく術後、生活の質（QOL）が低下することとなります。このような患者さん方を把握してその原因を明らかにし、対策を講じることにより、生活の質（QOL）を向上させることが可能となると考えています。
研究期間	西暦 2015 年 4 月（倫理委員会承認後） ～2015 年 12 月
研究方法	舌癌に対して舌再建を施行した患者さんの 2009 年 1 月から 2013 年 12 月までの診療録から必要な情報を収集させていただき、解析を行います。あらたに追加検査を行うことはありません。なお、診療情報はすべて個人が特定できないように匿名化して使わせていただきます。ご自分の診療情報を研究に使わないで欲しい、というご希望がありましたら、担当医までご相談ください。ご不明な点がありましたら、主治医にご相談ください。
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：形成外科 担当者：水上高秀 TEL：0534352496 FAX： E-mail：mizukami@hama-med.ac.jp